

[155]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 155

<https://doi.org/10.15017/1485111>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 155, pp. 1-14, 1978-01-12. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学 大型計算機センターニュース

No.155

1978. 1. 12

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ 科学研究費による計算機利用者へ	1
◇ 昭和 5 2 年度分科学研究費負担金ジョブのキャンセルについて	2
◇ 強制出力について	2
◇ 計算機利用申請書の一部変更について	2
◇ 支払責任者・課題登録の年度更新手続きについて	2
◇ 昭和 5 2 年度計算機利用報告書の提出について	2
◇ データセット利用説明会開催について	3
◇ TSS 利用説明会開催について	4
◇ 新規に登録されたカタログドプロシジェについて	5
◇ HLISP について	6
◇ PSP のレベルアップについて	8
◇ XYプロッタの制限値について	8

◇ 科学研究費による計算機利用者へ

科学研究費補助金による課題登録の有効期限は昭和 5 3 年 2 月 2 5 日となっていますが、2 月中はジョブ件数が多く、混雑が予想されるため、計算依頼及び穿孔依頼の受付を下記期日に締切りますのでご了承ください。

記

1. TSS 昭和 5 3 年 2 月 2 5 日(土)

2. BATCH, RES 及び穿孔依頼

昭和 5 3 年 2 月 2 5 日(土)

② 連絡所から依頼される方は「処理依頼カード」の右肩に「科研費ジョブ」と朱記の上 2 月 2 2 日(水)までに必着するようお願いいたします。(業務掛 電(内) 2 2 4 4)

◇ 昭和52年度分科学研究費負担金ジョブのキャンセルについて

標記のことについては、負担金請求の都合上、下記期日までに計算結果及びカードを添えてプログラム相談室又は業務掛に障害調査の依頼を行ってください。また、連絡所の利用者の方で期日までに間に合わないと思われる方は、あらかじめ業務掛まで電話でご連絡ください。なお、期日を過ぎた場合はジョブのキャンセルはできませんのであらかじめご了承ください。

記

期 日 昭和53年2月28日(火)

(業務掛 電(内)2244)

◇ 強制出力について

科研費ジョブの有効期限が2月25日(土)までとなっていますので業務サービス終了後ジョブを強制出力いたします。なお、科研費ジョブを使用されていない利用者には大変迷惑をおかけすることになりますのでよろしくお願いします。(業務掛 電(内)2244)

◇ 計算機利用申請書の一部変更について

新年度から課題ごとの予算管理サービスを行います。それに伴い計算機利用申請書の様式を一部変更しましたので、4月から有効の申請については、新様式により申請を行ってください。申請書用紙は連絡所にあります。(共同利用掛 電(内)2256)

◇ 支払責任者・課題登録の年度更新手続きについて

昭和52年度に当センターへ登録された方で、53年度も引き続き当センターを利用される方は、申請内容(身分・電話番号を除く)に変更がない限り53年度中であればいつでも年度更新の手続きができます。但し、4月1日より利用される方又はデータセットを利用されている方は、必ず2月1日～2月末日までに新様式の計算機利用申請書を添付のうえ連絡所・地区協を通じて手続きを行ってください。

に計算機利用報告書

なお、課題の年度更新は、支払責任者の年度更新がなされていない場合認められませんので、同一の支払責任者番号で課題の発行を受けられている方々は、申請書を一括して提出してください。(共同利用掛 電(内)2256)

◇ 昭和52年度計算機利用報告書の提出について

昭和52年度に課題登録された方は、利用の有無にかかわらず所定の「計算機利用報告書」を

4月末日までに提出してください。（卒業及び転出が予定されている方は事前に必ず提出願います。）
（共同利用掛 電（内）2256）

◇ データセット利用説明会開催について

データセット利用説明会を下記の要領で実施します。

募集人員については、会場の都合もあって定員になりしだい締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

なお、前回の利用説明会を受講された方はできるだけ遠慮ください。

- ・期 目 1月23日（月）
- ・対 象 プログラミング経験者（有資格者）
- ・募集人員 80名
- ・会 場 農学部防音講義室103
- ・時 間 割

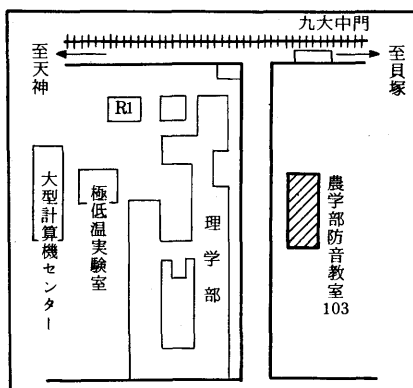
10:00	12:00	13:30	16:30
データセットの 利用方法概要説明	昼 休 み	データセット利用例の説明	

とシブ制作は編

- ・テキスト 利用の手引 データセット編を各人ご持参ください。（お持ちでない方は西利協窓口まで申し出ください。）

なお、参考マニュアルとして FACOM OSIV/F4 データセットユーティリティ使用手引書があります。お持ちの方はご持参ください。
このマニュアルは九大生協書籍部で販売しています。

- ・申込み先 九州大学大型計算機センター共同利用掛（内2264, 2256）
- ・申込み期間 1月17日（火）～1月21日（土）



（共同利用掛 電（内）2256）

◇ TSS 利用説明会開催について

TSS 利用説明会を下記の要領で実施します。

募集人員については、会場の都合もあって定員になりしだい締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- ・期 日 1月24日(火)～1月26日(木)
- ・対 象 データセット利用のための知識をもったプログラミング経験者
(有資格者)
- ・募集人員 50名
- ・会 場 九州大学大型計算機センター会議室(5階)
- ・時 間 割

	9:30	12:00	13:30	16:00
24日 (火)	TSS概要		昼 休 み	TSSの使用例
25日 (水)	実 習		昼 休 み	実 習
26日 (木)	実 習		昼 休 み	実 習

- ・テキスト センターで用意します。
なお、参考マニュアルとして FACOM OSIV/F4 TSS コマンド
文法書があります。お持ちの方はご持参ください。このマニュアル
は九大生協書籍部で販売しています。
- ・申込み先 九州大型計算機センター共同利用掛(内2264, 2256)
- ・申込み期間 1月17日(火)～1月21日(土)
(共同利用掛 電(内)2256)

◇ 新規に登録されたカタログドプロシジャについて

1) CDCOPY

機能：カードの複製・作表を行う。

制御文の形式

1 2	3	8 0
& &	PRINT=n ₁ , PUNCH=n ₂ , BASE=n ₃ , INCR=n ₄ ,	

(説明) PRINT・・・作表部数を1桁の数字で指定する(省略時は0とみなす)。

PUNCH・・・複製部数を1桁の数字で指定する(省略時は0とみなす)。

BASE, INCR・・・識別番号の初期値, きざみを4桁以内の数字で指定する。

(省略時はカード原本に従ってコピーする)。

使用例：

//ジョブ名 JOB コーザ名, パスワード

// EXEC CDCOPY

// SYSIN DD *

&& PUNCH=2, BASE=10, INCR=10 ... カードの複製を2部行うことを指定する。識別番号は初期値, きざみとも10となります。

複製したいカード

//

2) LIBCOPY

機能：ライブラリプログラムのソースのカード複製および作表を行う。制御文の形式は、上の1) CDCOPYと同じです。なお、富士通作成SSL, SSL2の複製については2階受付まで申込んでください。

使用例：ライブラリY1/HBLSのリストとカードを出力する。

//ジョブ名 JOB ユーザ名, パスワード

// EXEC LIBCOPY, MEMBER=Y1HBLS *

// SYSIN DD *

&& PRINT=1, PUNCH=1

//

* メンバ名の指定は1つしかできません。また、メンバ名の指定は従来と変わりません。九大ライブラリの場合、上の例のように分類コードとプログラム名で指定します。

(業務掛 電(内)2244)

◇ HLISPについて

新システム (FACOM M-190) でHLISPが使用できるようになりましたのでお知らせします。旧システム (FACOM 230-75) のHLISPは、FORTRANによって作成されていましたが、新システムのもはM-190のアセンブリ言語で書かれていますので、実行速度が約4倍に改善されています。また、HLISPによって作成された数式処理言語REDUCE2も合わせて使用することができます。

HLISP, REDUCE2の使用法については、いずれ広報などに掲載する予定ですが、当分の間下記の資料を参照してください (センター図書室にあります)。

- 1) 「解説HLISP(1)~(5)」, 東大大型計算機センター・センターニュース,
Vol. 7, No. 7 (1975) ~ Vol. 8, No. 1 (1976)
- 2) Hearn, A. C., REDUCE2 USER'S MANUAL, University of Uta, March 1973
- 3) 2) の訳
「REDUCE利用の手引(1)~(5)」, 東大大型計算機センター・センターニュース,
Vol. 9, No. 2 (1977) ~ Vol. 9, No. 12 (1977)
- 4) 「LISPを使用するために」, 九大大型計算機センター・広報, Vol. 9, No. 1 (1976)

HLISPを使用する際のカードデッキの構成は、次のとおりです。

1) HLISPとして使用する場合

```
//ジョブ名 JOB ユーザ名, パスワード
// EXEC HLISP
//SYSIN DD *
```

LISP データ

//

2) REDUCE2を使用する場合

```
//ジョブ名 JOB ユーザ名, パスワード
// EXEC HLISP
//SYSIN DD *
```

• REDUCE()

DEDUCH2 のデータ

//
最後に、HLISP の関数のうち入出力モードを指定するためのいくつかの関数について説明します。

- MDQD(n)・・・入力データで有効なものを、第n桁目までとする(省略時は72)。
- MDLP(n)・・・出力行を第n桁目までとする(省略時は136)。
- MDIN(n)・・・
 - $n \neq 0$ 入力データを出力することを指示する(省略時は $n \neq 0$)。
 - $n = 0$ 入力データを出力することをやめる。
- MDPN(n)・・・
 - $n \neq 0$ 出力される括弧のレベルを順次打ち出す(省略時は $n = 0$)。
 - $n = 0$ 出力される括弧のレベルの表示をやめる。
- MDCL(n)・・・
 - $n \neq 0$ LISPの評価が終了するごとに、累積、評価、入力、出力、GBC時間を下記のように表示する(省略時は $n \neq 0$)。

EVAL T/E/I/O/G=512/8/4/2/1

(説明:メッセージはHLISPの実行が始まってからの累積時間が512mSであり、今回の評価でその評価時間が8ms, 入力時間が4ms, 出力時間が2ms, ガーベージコレクションの時間が1msであったことを示す)

$n = 0$ 上記の表示をやめる。

(業務掛 電(内)2244)

◇ PSPのレベルアップについて

プロッタ・サブルーチンライブラリ PSPのレベルアップを行います。これにより、次の点が修正されます。

- 1) データセット識別番号を定義するDD文で、DCB=BLKSIZEのパラメータが省略可能となる。省略値として768バイトが指定される。

(例) // GO,FT16 F001 DD SYSOUT=(Q,XYPLOT)

- 2) 従来、実行時にABENDされたり、コンディションコードが16で終わる時に、作画された図の中にセパレータ情報が書かれる障害があったのが修正された。

なお、これらは、従来のPSPを組み込んだロードモジュールには適用されませんので、最初からつくりかえられるようお願いします。

◇ XYプロッタの制限値について

XYプロッタ利用時に、ジョブクラスごとの打ち切り（紙長および使用時間）をする際には、当分の間、実行時のパラメータに▼PSP▼と指定してください。

(例) // EXEC FORTCLG, PARM.GO=▼PSP▼

また、各ジョブクラスで、制限値以内で打ち切りたい時には、パラメータのオプションを次のようにしてください。

(例) Bジョブ(制限値：紙長500 cm, 使用時間30分)の場合に、紙長250 cm, 使用時間15分で打ち切りたい時

// EXEC FORTCLG, PARM.GO=▼PSP(LNGT=250,TIME=15)▼

利 用 の 手 引 「 制 御 文 編 」 正 誤 表

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
5	3	分:0~1439	分:0~1440
13	下4	・・・定義されたプロシジャステツブ・・・	・・・定義されたプロシジステツブ・・・
21	15	//GO.SYSIN DD *	//GO. SYSIN
37	12	STMT, ALIGN, NORENT, BUFSIZE(STD), SYSPARM()	STMT, ALIGN, NORENT, BUFSIZE(STD), SYPARM()
38	下8	LKED.SYSLMOD 作成したライ ブラリやロー ドモジュール	LKED. SYSLMOD 作成したライ ブラリやロ
39	下3	//HLISP.SYSIN DD *	//HLISP. SYSIN DD
43	下2	JSECCPYプログラムのCOPY, INDD制御文により・・・	JSECOPYプログラムのINDD, OUTDD制御文により・・・
55	7	//FORT.FT16F001 DD SYSOUT=(Q, XYPLOT)	//FORT. FT16001 DD SYSOUT=(Q, XYPLOT), DCB=BLKSIZE=128
	15	(6) アセンブラとFORTRANを結 合して実行する	(6) アセンブラとFORTRAN を結合して実行する.
57	1	・・・関連するDD名	・・・関連するDD文
	28	33) LKEDG GO.SYSGO(FORTRAN)	33) LKEDG GO. SYSGO(FORTRAN))
	下6	38) COPY・・・SYSIN, COPY/IN DD制御文により 指定したDD名	38) COPY・・・SYSIN, INDD/OUT DD制御文により 指定したDD文

センターニュース N O . / 5 5 正誤表

修正箇所 「◇支払責任者・課題登録の年度更新手続きについて」の4行目

誤 新様式の計算機利用申請書を添付のうえ

正 新様式の計算機利用申請書に計算機利用報告書を添付のうえ

修正箇所 「◇データセット利用説明会開催について」の
12行目

誤 ・テキスト 利用の手引 データセット編を各人ご持参ください。

正 ・テキスト 利用の手引 データセット編とジョブ制御文編を各人ご持参ください。

頁	行	誤	正
/	下/	上2月22日(水)までで.....	上2月24日(金)までで.....
5	6	PRINT=n1, PUNCH=n2, INCR=n4,	PRINT=n1, PUNCH=n2, INCR=n4
	12	//ジョブ名 JOB ユーザ名 , パスワード	//ジョブ名 JOB 課題名 , パスワード
	下8	//ジョブ名 JOB ユーザ名 , パスワード	//ジョブ名 JOB 課題名 , パスワード
	下6	//SYSIN DD * && PRINT=1, PUNCH=1	//SYSIN DD * }省略可 && PRINT=1, PUNCH=1 } (省略し た場合作表が一部行わ れます。)
6	下/	•REDUCE()	REDUCE()
7	/	DEDUCH2のデータ	REDUCE2のデータ